



お知らせ

記者発表資料	平成30年6月18日
配布日	

資料提供先：岡山県政記者クラブ

平成29年水質事故発生状況について (岡山三川水質汚濁防止連絡協議会 事務局受報分)

平成29年の岡山三川（吉井川水系・旭川水系・高梁川水系）の水質事故発生状況（岡山三川水質汚濁防止連絡協議会 事務局受報分）について、別紙のとおりお知らせします。

※「岡山三川水質汚濁防止連絡協議会(会長:岡山河川事務所長)」は、岡山河川事務所を事務局として、岡山県、広島県、流域市町村、消防組合及び水道企業団を含む55団体（別表1）で組織されています。

この協議会は、岡山三川（吉井川、旭川、高梁川）における水質事故への迅速な対応や水質保全、水質事故の未然防止を図ることを目的として、平成3年に発足しました。

関係機関の相互連絡を密に取り合いながら、各水系で一貫した水質事故への対応を行い、流水の正常な機能の維持、事故の未然防止に努めています。

問い合わせ先

岡山三川水質汚濁防止連絡協議会
事務局

国土交通省 中国地方整備局 岡山河川事務所
電話 086-223-5196（防災情報課直通）

【担当】

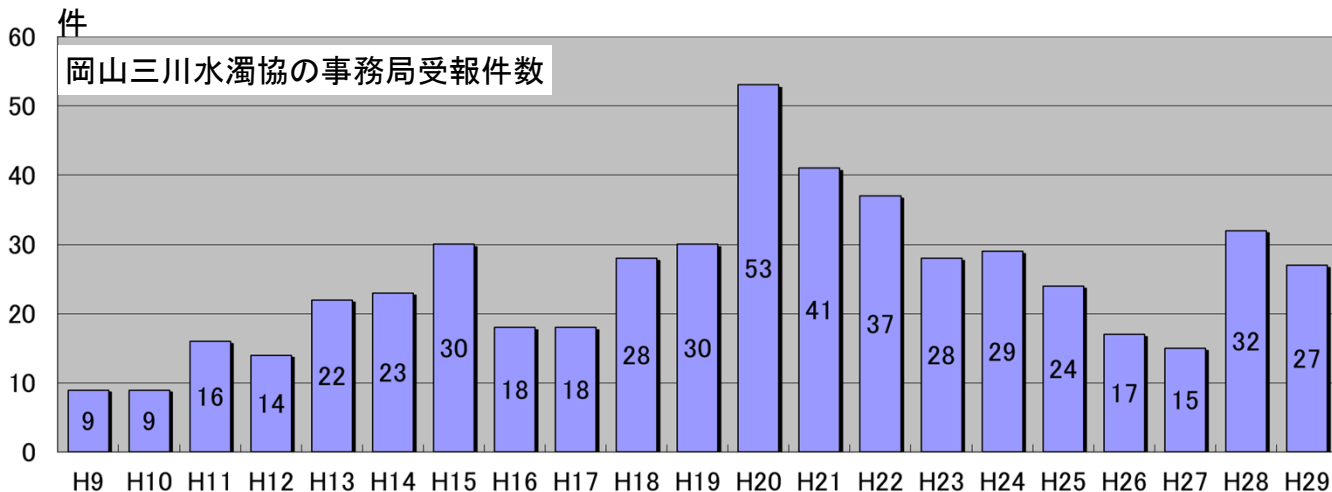
総括保全対策官 おおが よしかず
大賀 祥一（内線308）

防災情報課長 えんどう けんじ
遠藤 健二（内線281）

平成29年水質事故発生状況(岡山三川水濁協事務局 受報分)

(1)水質事故事務局受報件数

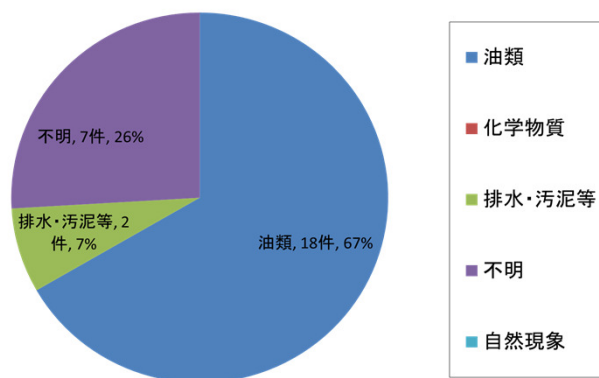
水質事故受報件数は図に示すとおり、平成13年から20件から30件程度で推移し、平成20年に水濁協への参加機関を拡大したところ受報件数が大きく増加しました。その後は減少傾向にありましたが、前年の28年に32件と大幅に増加し、平成29年は高梁川水系で8件、旭川水系で5件、吉井川水系で14件、三川全体で27件の水質事故を受報しました。



(2)水質事故の発生事象

発生事象別では「油類の流出」が18件と大多数を占めています。「排水・汚泥」とは、事業所の原水槽のポンプが停止したこと等の理由により未処理のままの排水が流出するなどの事故が発生しました。不明は、魚のへい死、白濁などがありました。

H29水質事故の発生事象別(事務局受報分)



(3)水質事故の発生原因

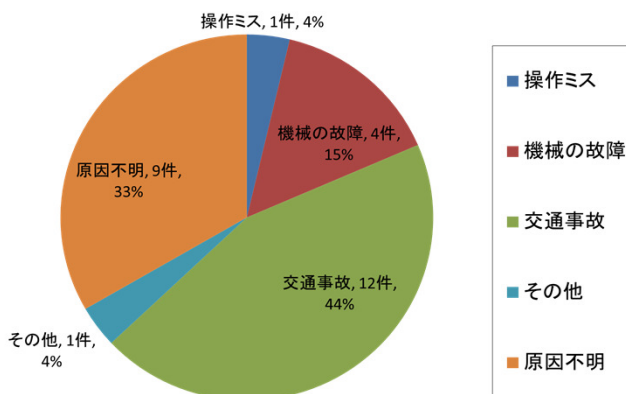
発生原因別では、「交通事故」によるものが最も多く12件、続いて「原因不明」のものが9件、次に「機械の故障」が4件、「操作ミス」及び「その他」が1件ずつ発生しております。

「操作ミス」とは、原因物質の取り扱いに際して人為的なミス（排水処理の管理不足）により生じた事故になります。

「機械の故障」とは人為的なミスによらない機械(タンクや配管等の設備も含む)の故障、経年劣化・腐食などによる損傷により生じた事故になります。

「交通事故」とは、自動車の転落事故によって河川へ直接燃料が流出したり、接触事故などによって燃料タンクなどから油が流出して水路等を経由して河川へ流出した事故になります。

H29水質事故の発生原因別(事務局受報分)



※水質事故対応状況参考写真



平成29年4月11日 高梁川水系軽部川
油流出事故(総社市清音古地)

「岡山三川水質汚濁防止連絡協議会組織一覧」

所 属	担当部局	所 属	担当部局
中国地方整備局	岡山河川事務所	井原市	市民生活部
	苫田ダム管理所	総社市	環境水道部
岡山県	危機管理課	高梁市	市民生活部
	環境文化部	新見市	福祉部
	保健福祉部	備前市	市民生活部
	農林水産部	瀬戸内市	環境部
	土木部河川課	赤磐市	市民生活部
	土木部都市局	真庭市	生活環境部
	備前県民局建設部	美作市	市民部
	(東備地域事務所)	和気町	民生福祉部
	備中県民局建設部	矢掛町	町民課
	(井笠地域事務所)	新庄村	産業建設課
	(高梁地域事務所)	鏡野町	くらし安全課
	(新見地域事務所)	勝央町	健康福祉部
	美作県民局建設部	奈義町	産業振興課
	(真庭地域事務所)	西粟倉村	建設課
	(勝英地域事務所)	久米南町	建設水道課
	企業局	美咲町	住民課
	警察本部	吉備中央町	住民課
広島県	土木建築局	津山圏域消防組合消防本部	警防課
岡山市	環境局	笠岡地区消防組合消防本部	警防課
	水道局	井原地区消防組合消防本部	警防課
	下水道河川局	東備消防組合消防本部	警防課
倉敷市	環境政策部	岡山県広域水道企業団	浄水課
	下水道部	岡山県南部水道企業団	施設課
	水道局	備南水道企業団	工務課
津山市	環境福祉部	岡山県西南水道企業団	施設課
	水道局		